

応援してください！

子ども・若者の育ちをささえる「経験・体験」そして輝く未来を！

子ども・若者 応援基金

2023年度
実施報告



社会福祉法人北区社会福祉協議会

ごあいさつ

日頃より北区社会福祉協議会の福祉事業に多大なるご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。令和3年度にスタートしました「子ども・若者応援基金」では、皆さまからのご寄付、ご支援のもと、令和5年度には、1個人3団体への助成を行い、子どもたちの経験や体験を応援しました。「フェンシング」、「プログラミング」、「cafeのおしごと」、「声優」など、子どもたちの夢と可能性は無限大です。

本基金を活用した子どもたちが、さまざまなジャンルで活躍し、誰かの心を揺り動かす存在になる輝かしい未来を夢見て、みなさまと一緒に本基金を大切に育てていきたいと思っております。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人
北区社会福祉協議会
会長
水越 乙彦

子ども時代、学校から帰ったあとや夏休みなどにした遊びや習い事、遠出や地域のイベントは、楽しかった、頑張った経験、あるいは苦い経験とともに思い出されることがあります。こうした経験が知らず知らずの間に私たちの人生の糧になっているのではないのでしょうか。

当基金ではこの3年間に、スポーツやアートの他、地域の団体による様々なプログラムで、子どもたちのチャレンジや体験の機会を応援してきました。

引き続き、地域の皆様とともに子どもたちを応援していければと思います。



子ども・若者応援基金
運営委員会
委員長
小田川 華子

表紙、基金ロゴデザインは、東京家政大学造形表現学科のご協力により、学生にデザインいただきました。



(表紙イラスト)



(子ども・若者応援基金ロゴ)



1

個人チャレンジ助成

個人チャレンジ助成は、子ども・若者の経験・体験を応援する助成制度です。子どもたちのチャレンジしたい気持ちを応援し、文化活動、スポーツ、学習、交流などの分野で活動する子ども・若者の夢や目標に向けて取り組むきっかけとなるように費用を助成します。(最大30万円)



子ども・若者
応援基金

個人チャレンジ助成

アミュゾン! フェンシング!!

活動報告



2023年度の個人チャレンジ助成では、「強い選手になってフェンシングの楽しさを伝えたい」という夢を持った1名の女の子が、助成金を使って夢を叶えるためのプログラムにチャレンジしてきました。

今年度はお子さんの目標である「技術の向上」「出会い」「フェンシングの普及」を達成するために、助成金を用いた備品の購入、大会・練習の参加だけでなく、様々な方にご協力いただき、トップアスリートへのインタビューや高校の部活動見学、小学校でのフェンシング教室を実施しました。

DATA

【参加者】小学4年生

【基金の使い道】備品購入費、参加費、交通費

【取り組み内容】①選手・高校生と交流し、進路の選択肢を広げる
②練習機会を確保し、練習を継続できる環境を作る
③自身の活動を宣伝してフェンシングに興味を持ってもらう

Challenge Roadmap

チャレンジ・ロードマップ

プロジェクト始動



2 やまだ区長とお会いしました!

城北信用金庫Johoku Athletes Club様のやまだ区長への表敬訪問に同席させていただき、アスリートの皆さんに混ざって自身で作成した名刺を交換させていただく場面もありました。



夢に向かって、こんなことにチャレンジしました。

Challenge Report

チャレンジ・レポート



4 東京五輪金メダリストとお会いしました!

北区スポーツ推進課の方々にご協力いただき、「東京オリンピック2020」フェンシング男子エペ団体に金メダルを獲得した宇山賢選手とお会いし、フェンシングを同年代の友達に広めるためにどのような働きかけが必要かアドバイスをいただきました。



3 現役フェンサーにインタビューしました!

Johoku Athletes Clubご所属の久良知美帆選手、向江彩伽選手にインタビューをさせていただきました。主に学生時代や現在の練習環境について質問し、強い選手になるための進路について考えました。



5 強豪校を訪問しました!

都内の公立高校で唯一フェンシング部があり、インターハイ優勝経験もある王子総合高校に訪問しました。当初は練習の見学を予定していましたが、実際に体験もさせていただきました。コーチや部員の皆さんが優しく教えてくださり、終始笑顔で練習に取り組んでいました。



参加者のメッセージ

みなさんのおかげでいろいろな挑戦や出会いがありました。憧れのフェンサーに会ってアドバイスをもらえたので試合で良い結果を残せました。道具もそろえることができました。
充実した1年を支えてくれてありがとうございました。



6 小学校でフェンシング教室を開催しました!

「みんなにフェンシングを知ってもらおう」という目標を達成するために、Johoku Athletes Clubの方々、北区スポーツ推進課の方々にご協力いただき、お子さんの通う小学校でフェンシング教室を開催しました。普段フェンシングに触れる機会は数少ないですが、選手のお話やおもちゃの剣を使った体験で楽しさを知ってもらうことができました。



団体活動助成

団体活動助成は、子ども・若者の様々な経験、体験に繋がる活動(居場所、遊び場、学習、キャリア教育、ふれあい、ワークショップなど)を実施、提供する団体活動に対して助成をします。(最大30万円)



子ども・若者
応援基金

団体活動助成

いろむすびcafeお仕事体験 (全13回)

[団体名：NPO法人彩結び]

活動報告



最初に、「お金」について学びました



みんなでチャラシを準備中...

お仕事体験では、最初にお金について学びます。幼い参加者にとってお金の仕組みについての説明を受けてから実際に仕事を体験することによって、自分でお金を稼ぐという意識を持って活動することができました。

「いらっしゃいませ!」の接客からレジ打ち、ドリンク作り、提供だけでなく、焼き菓子の袋詰めやチャラシ折り、掃除なども実際に体験しました。

最後にお給料としているむすびcafeで使うことのできるオリジナル通貨を受け取るとお子さんたちは大喜びで、自分でお金を稼いだことでお金や仕事に関心を持ってもらうことができました。

・DATA

[参加者] 年少～小学6年生

[基金の使い道] 備品購入費、広報費、消耗品費(エプロン等)ほか

[取り組み内容] ①働くことを体験して職業に興味関心を持つきっかけ(第1歩)となる
②地域の大人、異年齢の子どもたちとの交流
③お金概念や仕組みについて学ぶ

スタッフに見守られながらドリンク作り



お仕事中はみんな真剣です!

・団体紹介 NPO法人彩結び

NPO法人彩結びは、彩り豊かな人生を歩むために助けになる1人ひとりの課題を、お互いの強みを活かすことで解決することを目指しています。そのために自分の彩(強みや課題)を知る機会をつくり、自分らしい人生の目標を見据え、自分の彩を活かし、様々な彩と彩とを結ぶ機会を提供しています。

いろむすびcafeは0歳から100歳まで輝ける多世代交流のコミュニティカフェです。子供と一緒に働く「子連れワーク」、アクティブシニアのみなさんの活動参加など多世代がそれぞれの特徴をいかして活躍する仕組みによって運営されています。

地域の方のご寄付のおかげで、子供達に家の近くでお仕事に触れる機会を設けることができました。ありがとうございました。今後もお仕事体験を継続的に実施し、子供達に学びの機会を提供していきたいです。



NPO法人彩結び 代表
渡邊 麻純さん

団体活動助成

へいへいと遊ぼう! 声のお仕事体験 (全4回)

[団体名: へいへいと遊ぼう!]

活動報告



今回は地域の子どもたちに声優体験をしていただきました。事前に現場に立つ現役声優の方々より「最初からマイク前に立ってアニメの映像に合わせて喋ってみても、緊張してしまって、楽しかったという思いが持てないかもしれない」とのアドバイスをいただき、全4回の課題に取り組み最終的にアニメのアフレコ体験に至るという形式で実施をしました。また、過去のアニメ作品ではなく、東京家政大学造形表現学科の学生にご協力をいただき、オリジナル作品を作り、一から全て自分たちで作上げる過程を大切にしました。参加者の中には声優になる夢があって、すでに発声のレッスンに通っているという子もおり、熱心に取り組んでいました。

DATA

[基金の使い道] 映像作品や脚本代、声優さんへの講師費用、声優用マイク購入、会場費、消耗品費ほか

[取り組み内容] ①第1回 発声滑舌基礎練習編 ②第2回 物語を読んでみよう編
③第3回 読み合わせをしてみよう編 ④第4回 映像に合わせてみよう編
(協力: 東京家政大学造形表現学科)

声優のお仕事を身近に感じることができました



団体紹介 へいへいと遊ぼう!

へいへいと遊ぼう!は、言語聴覚士兼声優の代表による声のお仕事体験として「声優体験会」を実施。昨今人気が高まっている声のお仕事として、声優やVチューバーがありますが、養成所などに通うのは入学金や授業料などハードルが高く、夢をあきらめてしまうお子さんもいます。特殊な仕事ゆえに「試してみる」機会も少ないという現状から、「まずはちょっと試してみる」ことが出来るような機会を作りたいと活動されています。

日本のアニメや映像コンテンツというのは国際的にも大きな評価を得ているジャンルです。それを支えるクリエイターさんたちの中でも声優という職業は子供達にとって身近になりつつあるようです。ただ、声優というものに興味はあっても経験する場面は多くありません。チャレンジしてみたいけど、どうしたらいいのかわからないというお子さんたちが多く中、ご寄付をいただきました皆様のおかげでこのような会を実施することができました。出来上がった作品は皆様に楽しんでいただけるようYouTubeにて公開しています。ぜひ、皆様も視聴いただきコメントを残していただければ嬉しいです。

へいへいと遊ぼう! 代表
田畑 陽平さん

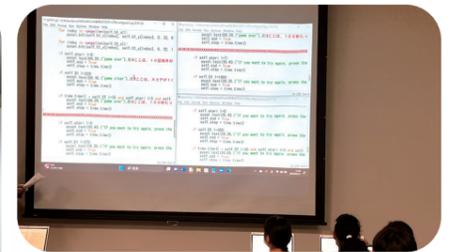


団体活動助成

チャレンジプロ (毎週水曜日と金曜日)

[団体名: NPO法人チャレンジプロ]

活動報告



パソコンの基本操作から行いました。学校ではchromeブックを使っている為、デバイスに慣れている子ども達ですが、中にはWindowsマシンを初めて触ったという子どももいました。昨年から参加している子どもや、今年からの参加者の中にもscratch等のビジュアルプログラミング言語を使ってゲーム制作をしている子どももいて、意欲の高さが伺えます。また、チャレンジプロ講師が今回の講座のために制作した「子どもパイソン」のYouTube動画を使っでの学習や、アメリカ人のエンジニアによる通常講座に加えた特別講座であるプログラミングで使用する英語の学習も行われています。

アドバイスを受けながらプログラミング中



DATA

[参加者] 小学4年生~6年生で入講、その後継続可能

[基金の使い道] 子どもに貸与するパソコン代

[取り組み内容] ①PCの基本的な操作(インターネットリテラシー含む)
②タイピング、Python言語の学習
③ネイティブ・スピーカー英語学習(金曜日の30分間)



団体紹介 NPO法人チャレンジプロ

NPO法人チャレンジプロは、区内外のエンジニアが集まって、子ども達にプログラミングの楽しさを伝えていきます。シリコンバレーで30年間、IT企業を複数創業・経営してきた代表をはじめ、大学教授、日本や世界を代表するIT関連企業の社員など、一般的なパソコン教室とは一線を画した本格的で分かりやすいをモットーに活動に取り組まれています。活動は令和4年から始まり、今年度はNPO法人格を取得してプログラミング言語のPython(パイソン)を主な学習言語として子ども達にプログラミングを教えています。

新しい世界を創るソフトウェアを開発できる人材を育て、北区から世界の産業を牽引したい。そのために小学生がプロの世界で使うプログラミングを習熟し、ITの世界で大谷翔平氏のようなプロのプログラマーを輩出していきたい。

NPO法人チャレンジプロ 代表
坂本 明男さん



令和5年度基金収支報告

令和5年度期末残高^{※1} **2,431,242円**

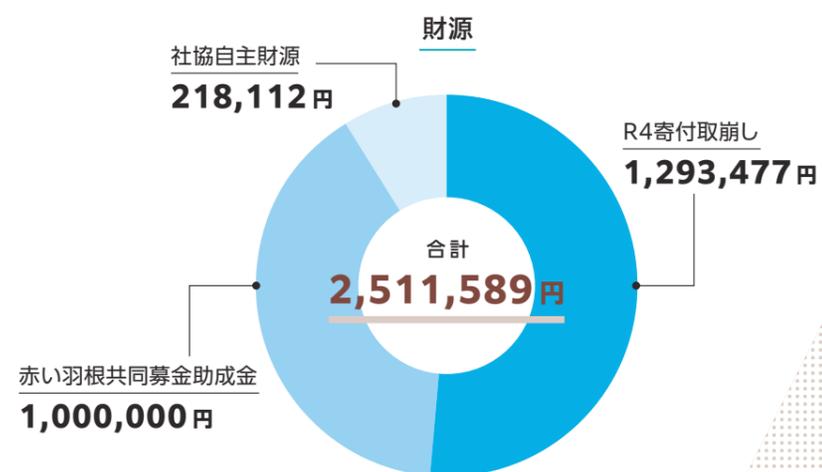
※1 R5末の基金全体の残高

R5基金の収支状況

R5期首残高	2,405,859円	R5年4月1日残高
収入	1,783,242円	内訳) 事業寄付 1,771,219円 原資寄付 12,000円
支出	1,757,859円	内訳) 助成 1,145,000円 事業費 612,859円
R5期末残高	2,431,242円	R6年3月31日残高 (25,383増)

R5基金事業支出及び財源の内訳

助成金支出	1,145,000円	個人1件、団体3件
運営事業費	1,366,589円	報告書作成費、報告会開催費用、委員会費用弁償、等
合計	2,511,589円	



協賛企業・団体一覧

私たちは「子ども・若者応援基金」を応援しています。



企業・団体様からのご支援

子ども・若者応援基金は企業・団体の皆様からのご支援もお待ちしております。ご支援いただいた企業・団体様には当会HPへのバナー掲載と、次年度の基金紹介冊子へのお名前の掲載をさせていただきます。

本基金へのご支援は「損金算入」いただくことができます。

【企業・団体様ご支援窓口】

北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

TEL: 03-3906-2352 E-mail: kodomo@kitashakyo.or.jp





子ども・若者 応援基金

寄付ご相談窓口
企業・団体様ご支援窓口

社会福祉法人北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金
TEL : 03-3906-2352
E-mail : kodomo@kitashakyo.or.jp

子ども・若者の夢・未来の応援のお願い

1 資金で応援する

基金へいただいたご寄付は、翌年度の事業資金として、子どもたち、若者たちの活動への助成金等で使用されます。

2 経験・体験で応援する

職業体験等のプログラム提供や、子どもたちのチャレンジする場の提供や協力で応援させていただいております。

3 広報で応援する

基金の活動を広めるための広報活動(社内外等と呼びかけるなど)をご協力いただくことで、基金への支援が広がります。



ホームページはこちらのQRコードから
アクセスいただけます。

表紙イラスト : 東京家政大学造形表現学科 高橋真結 氏
ロゴデザイン : 東京家政大学造形表現学科卒 田中優衣 氏

お問合せ : 社会福祉法人北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

TEL : 03-3905-6653 E-mail : kodomo@kitashakyo.or.jp